

登録コード	A3592493	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ					担当教員	若林 剛志	
英文授業名	Presentation Ⅱ							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	国内外における農業経済・経営の課題について理解し、解決方法について検討する能力を修得する	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	国内外における農業経済・経営の課題について理解し、解決方法について検討する能力を修得する	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	国内外における農業経済・経営の課題について理解し、解決方法について検討する能力を修得する	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	国内外における農業経済・経営の課題について理解し、解決方法について検討する能力を修得する	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、自らの研究計画、研究に関連する国内外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。 ※最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とする。							
(5)授業計画	1-15回 各回報告担当者が、既往文献の内容やそれと関連する研究成果等を報告し、その報告について参加者間で論点を出し合い、議論する。							
(6)自主学習の指針	自主学習では研究雑誌や書籍を使用し、学習することを薦める。							
(7)成績評価の基準	報告者が行うプレゼンテーション資料の内容、理解のしやすさ、解説の的確さだけでなく、論点に対する参加者の議論の深まりなどを総合的に評価します。							
(8)事前事後学習の内容	・事前学習は、報告対象研究とそれに関連する既往文献を理解するなど、自主学習の指針に基づいて行う。また必要に応じて、指導教員や先輩学生のサポートを求める。 ・事後学習は、報告者については自身のプレゼンテーションの改善、報告者を含む参加者は報告内容を理解し、報告で生じた疑問点の解消を行う。							
(9)テストやレポートの予定	ありません。							
(10)成績評価の方法	90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とします。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。							
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しません。							
【教科書】	特に指定しません。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）							